

令和2年度事業の基本方針

会 長 宮 本 謙 三

公益社団法人高知県理学療法士協会は、令和2年度に設立50周年を迎えることになりました。会員数は1600名を越え県内有数の医療職能団体となるとともに、医療福祉領域における公益活動を通して積極的な社会貢献を行ってきました。こうした活動は年を追うごとに広がりを見せ、協会各部の事業は充実し多様化しています。一方で、県内における理学療法士の需給関係は均衡に向かいつつあり、右肩上がりの組織拡大も徐々に落ち着いてくるものと推察されます。今後は、収支均衡を見通した事業展開を心掛け、拡大一辺倒の各事業をより必要性が高く洗練された事業展開へと再構築していく時期に来たと考えています。

今年度の特徴的な事業としましては、本会設立50周年の記念式典を11月に計画しています。日理協50周年式典は昨年開催され、四国各県の50周年事業も順次予定されています。高知県協会としても身の丈に合った記念式典を開催し、公益法人としての社会的認知度を確かなものとする予定です。会員の皆さんには、式典の開催はもとより記念誌の作成等にもご協力をいただきたいと思います。

一方、経年的に展開されている各種事業は概ね継承し、緊縮予算のもとで公益性の高い事業、会員の関心が高い事業が計画されています。上述の式典開催費用により支出が膨らむため、各部事業を拡大することが難しくなりましたが、経費節減を徹底して活動内容に後退がないよう事業運営に努めたいと思います。そして、昨今の傾向として日理協との連携事業が拡大傾向にあります。全国組織と足並みを揃えながら、地域包括ケアの推進、生涯学習制度、新人教育、管理者研修、加えて臨床実習指導者講習会等々、会員サービスを落とさないよう対応していきます。県協会の独自事業については、会員の声を聴きながら成果を検証し、事業の将来的な方向性を議論していきたいと思います。

最後に、第34回高知県理学療法士学会は西村敦司学会長（田中整形外科病院）のもと高知市で開催されます。生涯学習プランの目指すところは主体的な自己研鑽です。多くの会員が日頃の成果を持ち寄り、活発な意見交換ができますよう期待しているところです。

各部事業の細部については後述の事業計画をご参照ください。令和2年度は50年の歴史を顧みる年であると同時に、更なる県協会50年の幕開けの年でもあります。積極的で活力ある理学療法士協会として、飛躍の年になりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。